

市長定例記者会見資料



令和2年11月19日	
所 属	都市政策課
所属長	橋本 貴宗
電 話	06-6489-6138

市長公約の進捗状況を公表します～稲村市政3期目2年目1年間の取組～

1 趣旨

平成30年12月から稲村市政3期目を迎え、2年が経過します。

市政3期目の4つの公約とその公約の実現に向けた14の個別項目について2年目の進捗状況を公表します。

2 進捗状況

市政3期目の4つの公約に係る進捗状況は次のとおりです。

14の個別項目に係る状況については、別紙「稲村市政3期目公約整理表」を参照ください。

項 目	目 標	平成30年度	現在値	進捗状況
1. ファミリー世帯が住みやすいまちをつくりまします！ ファミリー世帯の定住転入を促進します！	ファミリー世帯の 転出超過世帯数半減 (令和4年に191世帯)	257世帯 (平成30年)	292世帯 (令和元年)	↓ 【低下】
2. 安心して年齢を重ねられるまちを目指します！ 平均寿命だけでなく、健康寿命を延ばします！ ※健康寿命：自立して日常生活を送れる期間	平均寿命の増加分を 上回る健康寿命の増加 (令和4年)	男性△1.54歳 【79.54歳】 女性△3.44歳 【86.46歳】 (平成29年)	男性△1.60歳 【80.04歳】 女性△3.46歳 【86.92歳】 (平成30年)	→ 【現状のまま推移】
3. 地域を元気に！このまちで学び、活躍する人を増やします！ 「地域活動への参加度」、「尼崎を推奨する意欲」、「支え手への感謝」の3つを数値化したシティプロモーション評価指標を向上させます！	「市民参画指数※」の増加 (令和4年度に50.6) ※「地域推奨意欲」 「地域活動意欲」「地域活動感謝意欲」の平均	42.8 (平成30年度)	43.5 (令和元年度)	↑ 【改善】
4. 未来に責任！財政改革をやり遂げます！ 市債残高を令和4年度には1,100億円以下(阪神淡路大震災前の水準)に！ 基金(貯金)を崩さず毎年度収支均衡を確保します！	借金(市債残高)を減らしている (令和4年度に1,100億円以下)	1,399億円 (平成30年度)	1,275億円 (令和2年2月時点)	↑ 【改善】
	収支を黒字にできている (令和4年度に収支均衡)	26.0億円 (平成30年度)	21.3億円 (令和元年度)	→ 【現状のまま推移】

3 総評

4つの公約の実現に向けては、ファミリー世帯の転出超過数が、平成28年から30年まで3年連続減少し改善傾向にありましたが、令和元年は前年より35世帯増加しやや悪化しました。

しかしながら、市外へ転出するファミリー世帯については、調査を開始した平成26年から5年連続で減少しているほか、例年実施している「市民意識調査」の結果では、「本市のイメージが良くなった」と感じる人の割合が大きく上昇しています。

今後も効果的にまちの魅力を発信しながら、本市の多様な住宅地の特徴をブランディングしていくなど、ファミリー世帯向けの良好な住宅が供給されるまちづくりを進めるとともに、引き続き待機児童対策や学力向上に向けた取組を進めます。

(新型コロナウイルス感染症への対応)

今般の新型コロナウイルス感染症の発生に伴う外出抑制や人と人との接触機会の低減により、市民生活や地域経済に深刻かつ甚大な影響が生じています。子どもの教育や高齢者の健康増進に向けた活動、観光の振興など公約の推進にあたっては影響を受けており、財政状況の悪化も危惧されるところです。

そうしたなかにあっても、感染症予防対策に注力しつつ、ウィズコロナ・ポストコロナの新たな生活様式を見据え、公約の実現に向け、全力で取り組みます。

※前記公約のほか、次の3つのプロジェクトについて取組を進めています。

■旧大学跡地を活用した「ひと咲きプラザ」の整備

・令和元年10月にオープンした「いくしあ」では、発達の不安を抱える子どもやその保護者に対し相談業務等を実施し必要な支援につなぐとともに、継続したフォローに努めてまいります。

・令和3年度から「ひと咲きプラザ」内への県の児童相談所設置に向け、調整を進めるとともに、今後県からの児童相談所の移管を見据え、専門職の人材育成を進めてまいります。

■尼崎城を核とした観光地域づくり

・文化財収蔵庫のリニューアルが完了し、文化財行政と公文書館の機能を併せ持つ施設として「歴史博物館」を令和2年10月にオープンしました。今後は、博物館の魅力向上に努めるとともに、歴史的公文書の収集や閲覧等に関して定める公文書管理条例の制定に向けて取組を進めてまいります。

■地域力を支える体制づくり

・生涯学習プラザの設置、地域担当職員の配置から1年がたち、生涯学習プラザにおける事業の実施数・参加者数は増加しました。また、コロナ禍においては、オンラインでの発信等様々な手法を活用した事業を企画・実施するほか、各地域に各種の相談に応じる体制を整えており、こうした非常時にこそ地域を支える拠点としての取組を進めてまいります。

以上

1. ファミリー世帯が住みやすいまちをつくります！

【進捗状況】 ↑：改善 →：現状のまま推移 ↓：低下

項目	目標	3期目の進捗状況		備考	
		1年目 (令和元年度)	2年目 (令和2年度)		
ファミリー世帯の定住転入を促進します！	ファミリー世帯の 転出超過世帯数半減	↑	↓	【ファミリー世帯の転出超過世帯数】 平成29年：272世帯 平成30年：257世帯 令和元年：292世帯 (目標値：令和4年 191世帯)	
公約の個別項目					
1	『学力向上』 「ほぼ全国平均」→「個々の確かな学力の向上」による 「全国平均超」へ！	全国平均超え	→	—	【全国学力・学習状況調査における平均正答率の全国との差】 平成30年度：△1～△4 令和元年度：△1～△4 令和2年度：新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ・自己肯定感や未来に向かうモチベーションを育むため、キャリア教育の充実やきめ細やかなステップでの評価機会の設定などをまとめた、中学校版「学力向上の手引き（仮称）」を検討・作成中
2	『学校の空調整備』 学習環境の向上はもちろん、学校を地域の拠点に！	地域開放校の拡大	→	→	【地域開放校】 平成30年度：6校 令和元年度：6校 令和2年度：6校 ・平成29年度から6校（各地区1校ずつ）を先行して地域へ開放 ・利用促進のため、子どもの学びに資する活動を実施する際は教育活動の一環として、利用手続きの簡素化などを検討
3	『中学校給食』 センター方式による令和4年一斉スタートに向けて全力で 取組みます！	任期中にスタート	↑	↑	・令和4年1月からの中学校給食開始に向け、 <u>令和2年10月に給食センターの建設工事を着工</u>
4	『待機児童対策』 早期解消を目指し、受入れ枠の拡大に取り組んでいます！	待機児童ゼロ	→	↓	【保育施設待機児童数】 平成30年4月時点：156人 平成31年4月時点：148人 令和2年4月時点：236人 ※定員が334人増加したものの、幼児教育・保育の無償化の影響などにより、保育需要が前年比で373人増加。
5	『こども医療費助成』 財源確保に取り組む、充実を目指します！	拡充	↑	→	・令和元年7月1日より、乳幼児等医療費助成の未就学児（1～6歳児）の所得制限を撤廃し、こども医療費の自己負担を軽減

2. 安心して年齢を重ねられるまちを目指します！

【進捗状況】 ↑：改善 →：現状のまま推移 ↓：低下

項目	目標	3期目の進捗状況		備考	
		1年目 (令和元年度)	2年目 (令和2年度)		
<p>平均寿命だけでなく、健康寿命を伸ばします！ ※健康寿命：自立して日常生活を送れる期間</p>	<p>平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加</p>	↑	→	<p>【平均寿命の増加ー健康寿命の増加】 平成28年：男性△1.71歳（80.00歳）、女性△3.53歳（86.57歳） 平成29年：男性△1.54歳（79.54歳）、女性△3.44歳（86.46歳） 平成30年：男性△1.60歳（80.04歳）、女性△3.46歳（86.92歳） ※（ ）内は平均寿命</p>	
公約の個別項目					
6	<p>認知症対策、介護予防をさらに推進し、生きがいをもって暮らす高齢者（市民アンケートによる回答）を増やします。</p>	<p>生きがいを持つ高齢者の割合の目標値達成</p>	↑	↑	<p>【生きがいを持つ高齢者の割合】 平成29年度：59.2% 平成30年度：64.3% 令和元年度：66.3% (目標値：令和4年度 75.9%)</p>
7	<p>災害時要援護者支援の基盤になる市内全域の見守り活動の実施を目指して、支援体制の充実に取組みます。</p>	<p>市内全域で見守り活動実施</p>	→	→	<p>【高齢者等見守り活動地域】 (社会福祉連絡協議会圏域) 平成30年度：43地区/75地区 令和元年度：45地区/75地区 令和2年度：45地区/75地区(令和2年10月30日時点) ※令和元年度に新たに2地区立ち上がり</p> <p>・社会福祉連絡協議会圏域だけでなく、単位福祉協会やマンション管理組合など、見守り活動者が活動しやすい単位でのきめ細やかな見守り活動に向けた検討を開始</p>
8	<p>老朽化している休日夜間急病診療所の建替えに取り組めます。</p>	<p>建替え計画の具体化</p>	→	→	<p>・早期の建て替えに向け、候補地、建設手法等の方向性について令和2年度中の公表を目指して検討中</p>

3. 地域を元気に！このまちで学び、活躍する人を増やします！

【進捗状況】 ↑：改善 →：現状のまま推移 ↓：低下

項目	目標	3期目の進捗状況		備考
		1年目 (令和元年度)	2年目 (令和2年度)	
「地域活動への参加度」、「尼崎を推奨する意欲」、「支え手への感謝」の3つを数値化したシティプロモーション評価指標を向上させます！	「市民参画指数」の増加	↑	↑	【市民参画指数※】 平成29年度：39.0 平成30年度：42.8 令和元年度：43.5 ※「地域推奨意欲」「地域活動意欲」「地域活動感謝意欲」の平均
公約の個別項目				
9 みんなの尼崎大学やサマーセミナーなど、市民の学びが広がる取組をさらに進めます。	取組の拡大	↑	→	・「みんなのサマーセミナー」 平成30年度：約320講座、6,000人 令和元年度：約340講座、6,300人 令和2年度：最大約100人（「オンラインサマセミ」におけるZoom及びYouTubeの最大接続者数） ※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、現地での開催を中止し、「オンラインサマセミ」を開催
10 市内企業との連携で、長期実践型インターンシップの受け入れや起業支援を推進！中高生の社会力向上、経験型学習もさらに進めます。	取組の拡大	→	→	・市立3高校で、実際の社会で役立つ力を育む「課題解決型学習」を実施 ・長期実践型インターンシップ実績 平成30年度：受け入れ企業5社、参加大学生9人 令和元年度：受け入れ企業5社、参加大学生8人 令和2年度：受け入れ企業4社、参加大学生8人 （令和2年10月30日時点） ※令和2年度については、新型コロナウイルス感染症拡大を受け、新たな試みとしてオンラインを活用したりリモート型インターンシップに取り組んでいる。
11 尼崎のまちの魅力や先進的な取組、防災情報などを発信するための広報機能を強化します。	あまらぶ指数の目標値達成	—	→	・公式YouTubeを開設したほか、災害用Twitterを市公式に移行するなど、web環境を通じた情報発信を強化 【あまらぶ指数】 市民参画指数（地域推奨意欲、地域活動意欲、地域活動感謝意欲）と、市外在住の方の尼崎をおすすめしたいという思いを総合的に数値化したもの 平成30年度：37.7 令和元年度：37.7 （目標値：令和4年度 46.5）

4. 未来に責任！財政改革をやり遂げます！

【進捗状況】 ↑：改善 →：現状のまま推移 ↓：低下

項目	目標	3期目の進捗状況		備考	
		1年目 (令和元年度)	2年目 (令和2年度)		
市債残高を令和4年度には1,100億円以下（阪神淡路大震災前の水準）に！ 基金（貯金）を崩さず、毎年度収支均衡を確保します！	借金（市債残高）を減らせている	↑	↑	【市債残高】 平成29年度：1,492億円 平成30年度：1,399億円 令和元年度：1,275億円（令和2年2月時点） （目標値：令和4年度 1,100億円以下）	
	収支を黒字にできている	↑	→	【財政収支】 平成29年度：△2.0億円 平成30年度：26.0億円 令和元年度：21.3億円 （目標値：令和4年度 収支均衡）	
公約の個別項目					
12	借金の縮減、収支の均衡、基金積立のバランスを図る財政規律を明確化。必要な投資と財政規律を両立させ、未来にツケは回しません。	財政規律・ 財政目標の達成	↑	↑	・令和2年度当初予算において、 <u>4年連続実質的収支均衡を確保</u> ・市債の早期償還により将来負担を抑制
13	引き続き、現役世代の定住転入促進や産業振興、市税収入率の向上などによる税源の確保に取り組めます。	個人市民税収入率の 目標値達成	↑	↑	【個人市民税収入率】 平成29年度：92.7% 平成30年度：93.5% 令和元年度：94.4% （目標値：令和4年度 95.0%） ・令和元年度決算において、納税義務者数の増加等により個人市民税で対前年度比で7億円の増、企業収益の増等により法人市民税が3億円の増
14	公共施設マネジメントでは、施設の再編だけでなく、適正な管理による施設の長寿命化と費用が特定の年に偏らないように取り組めます。	計画通り進捗	→	→	・「公共施設マネジメント計画」における「第1次保全計画」に基づき、 <u>長寿命化改修に着手【サンシビック尼崎】</u>